

平成 27 年度いじめ対策等生徒指導推進事業
事業内容：「LINEによるトラブル相談の実施」

第 1 回運営協議会議事録

1. 日時 平成 27 年 7 月 15 日（水） 14：00～16：00
2. 場所 和歌山紀南児童相談所（Big・Uの隣の建物）
住所：〒646-0011 田辺市新庄町 3353-9 TEL：0739-22-1588

3. 協議会メンバー（10名） 出席者 7 名

氏名	所属等	出席
豊田充崇	和歌山大学教育学部附属教育実践総合センター 教育実践総合センターセンター長、教授	○
川橋裕	和歌山大学システム情報学センター 講師	
阿部泰尚	NPOユースガーディアン 代表理事 (TIU総合探偵社 代表)	○
北山泉	和歌山県紀南児童相談所 所長	
衣斐哲臣	和歌山大学教育学部附属教育実践総合センター 教授 (本事業申請時、紀南児童相談所次長)	○
臼井義美	NPO情報セキュリティ研究所 代表理事	○
橋本典和	NPO情報セキュリティ研究所 研究員	○
西庄恵介	NPO情報セキュリティ研究所 研究員	○
下川奈美路	NPO情報セキュリティ研究所 事務局長	○
梅野英子	NPO情報セキュリティ研究所（本事業専属スタッフ） 7月22日から勤務開始 協議会へは次回から参加予定	

※NPOユースガーディアン阿部氏の随行として、同NPO理事黒澤道典氏が出席された。

4. 協議内容

担当	内 容
臼井	・ ご挨拶と協議会発足の趣旨等PPTを使って説明（資料1） ・ 出席者の方々の自己紹介
下川	・ 本事業のスケジュールについて説明（資料2）
阿部氏	いじめに対する対応事例、対応時の注意点について（資料3） ・ 資料を示しながら説明。 ・ いじめに関する相談を受けた際、できるだけ面会面談をして話を聞くようにしている。 ・ LINEを知らない教職員の方が結構いらっしゃる。また、学校の先生は

	<p>多忙で、個々にサポートが難しい現実がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セミナー講師の際、LINEの画面をスクリーンショットで残しておく。証拠の取り方を知っているのと抑止力として使えるという話をしている。
衣斐氏	<p>児童相談所での相談について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「児童虐待」がメイン。紀南地方は非行が少ない。 ・相談の際は、親が同行するが多い。「児童虐待」や「発達障害」の相談が主で、「いじめ」を主とする相談は少ない。 ・「いじめる側」（加害者）の場合、非行に走って、学校の先生が連れてくる。「いじめられる側」（被害者）の場合、不登校になることが多い。 ・「いじめ防止対策推進法」が平成 25 年公布されたが、水面下のいじめが表面に出つつある。 ・相談の際は、相談者らと、学校、親、友達とのやり取りを記録し「いじめのないやりとりを作っていくためにはどうすればいいか」考えていく。いじめによる不登校の場合、相談者はいじめる側に「その内容を言わないで欲しい」と言う。相談者が何を怖がっているのか、何をして欲しいのか、心配していることに焦点をあてて、話を聞く。子どもをどう安心させるかが大切。
豊田氏	<p>SNS利用実態調査結果について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNSは、悪いイメージで使われることが心配である。予防措置は必要で、一定層への効果はある。 ・大学内で、ケーススタディの一環として、リアルな場面を設定した「4コマ漫画」を作成している。現在の登録者へ「LINE@」へ加入呼びかけの際、活用できるのではないか。 ・先日、上富田町の朝来小学校で授業を行った。グループ分けし、受け取ったメッセージについて「いやなランキング」を挙げてもらった。結果はグループで違いがあった。人によって、立場によって、いやなことは違うということを実感してもらった。「悪口書くな」だけでは相手に響かない。 ・中学生の約半数がSNSを利用しているという調査結果が出ているが、内訳が中学1年生で3割、中学3年生で7割となっている。中学3年生の終わりでは、ほとんど全部の子どもたちが利用している。ゲーム依存症は、日常的に利用している子どもは1割で意外と少ない。YouTubeはLINEに匹敵するくらい利用者が多い。 ・高校生では、SNSの利用は高校2年生がピークで、高校3年生になると受験があるため、利用は減る。暇があれば、Twitterを利用する。Facebookは実名なので利用者は少ない。 ・トラブルの多くは、LINEの中で発生する。Twitterは基本公開なので、ト

	ラブルは少ない。
西庄	<p>さいぱと君の相談内容などについて（資料4）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達登録者数：7月15日現在 1948名 ・最近の相談内容について、資料を示しながら説明 ・「LINE@」の新機能について説明
橋本	<p>プログラムの技術対応について（資料5）</p> <p>（後日、お送りします。）</p>
臼井	<p>メーリングリストの作成について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「サイバー探偵団」を管理運営するため、協議会関係者が情報交換するためのメーリングリストを作成する。 ・名前の候補：リレクティブ、プライベートアイ、サイ探 ・登録メンバー 和歌山大学：豊田充崇・川橋裕・衣斐哲臣 NPOユースガーディアン：阿部泰尚・佐々木真人・黒澤道典 和歌山県紀南児童相談所：北山泉 NPO情報セキュリティ研究所：臼井義美・橋本典和・西庄恵介 下川奈美路・梅野英子 ・メーリングリスト担当：橋本典和 <p>（後日、サイバー探偵団本部メーリングリストは、cytan@riis.or.jp（サイ探）と決まった。）</p>
下川	<p>第2回運営協議会の開催日について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年9月10日（木） 14:00～16:00 ・場所については、和歌山大学またはBig・Uのどちらかで検討する。

（記録：下川奈美路）